

「創意と活力」のある学校づくり推進事業報告

春日井市立 味美小学校

事業テーマ	自らの目標に対し、粘り強く考え、他者と協働して実現していこうとする児童の育成		
取組の目的	○本校児童の良さを生かし、課題を解決するために、「児童一人一人が立てた目標を大切にできる授業」「粘り強く取り組もうとすることができる授業」を実践する。 ○「他者と協働することができる力」を育む環境を整える。 ○教育活動全体に関わる生活科、総合的な学習の時間において魅力のある実践を行い、教科横断的な力を育んでいく。		
区 分 (○印を付ける)	新規事業 ・継続事業（総事業年数 3年間、1年目）		
継続事業の場合、昨年度の課題を踏まえて対応した内容			
事業名	事業内容	実施時期	
1 授業向上研修	・「目標」「粘り強く」「他者と協働」をキーワードに、日常的な授業改善と外部講師による授業参観・指導助言等を通して、取組の改善を図った。	6月・9月 ・1月	
2 生活科・総合的な学習の時間を中核としたカリキュラム・マネジメント	・生活科・総合的な学習の時間について、外部講師の指導や職員での話し合いから、年間計画や魅力ある実践について考え、取組の改善を図った。	4月	
3 外部講師によるSST研修	・全校SST「味小タイム」を実施し、子どものソーシャルスキルと自己肯定感の寛容を目指した。外部講師の指導から取組の改善を図った。	6月	
4 学級経営向上研修	・学級経営・学級活動について、外部	5月	

	講師の指導から、年度初めに立てた「学級目標」を見つめ直し、取組の改善を図った。	
--	---	--

研修の様子



取組の成果

○「児童一人一人が立てた目標を大切にすること」「粘り強く取り組もうとすること」を意識した実践を全職員で参観し、外部講師による指導・講評もあったので、全職員の力量向上につながった。

○味小タイム（SST）の継続実施、学級目標を大切にした学級経営・学級活動の取組、外部講師を招聘した研修により「他者と協働することができる力」を育む環境を整えることができた。

○外部講師の講演から、教育活動全体に関わる生活科において、魅力のある活動を計画・実践し、教科横断的な力を育むことができた。

課題

○「粘り強く取り組もうとすることができる授業」の実現のために子どもたちの興味・関心を知り、子どもたち一人一人が解決したい目標を設定できるような授業展開を目指す。

○教育活動全体に関わる総合的な学習の時間において、魅力のある活動を計画・実践し、教科横断的な力を育む。